

# 心豊かな人づくり、そしてここに住む誇りと幸せを感じるまちづくりをめざし ～「読書シティむらやま宣言」のまち～



村山市立図書館(山形県村山市) <http://library@cithy.murayama.lg.jp>

## 基本データ(数値はH25年現在)

住所	村山市楯岡五日町14-20
電話番号	0237-55-2833
人口(図書館が所在する市町村)	25,764人
職員数(うち有資格者数)	11名(4名)
蔵書数	97,870冊
登録者数	11,236人
年間貸出冊数(H24)	159,027冊

## 目的・趣旨

平成22年、市民(子供から大人まで)の意見書をもとに、特に子供たちの意見を反映させた図書館として移転・開館された。児童書の充実に努めるとともに、市を挙げて読書に取り組む「読書シティむらやま宣言」を具現化する拠点となっている。

## 取組概要

様々な取組みにより、読書推進を図っている。

### 【市民とつくる図書館】

- 毎年10月は「むらやま読書月間」…全国読書川柳コンクールを実施
- 絵本作家のワークショップ「絵本ライブ」 ○むかし語りのつどい ○図書館おはなしサポーターズ

### 【子供の読書推進】

- 「子ども読書の日」を設定。
- 小学校への移動図書館車巡回や市内各小中学校の母親委員会の研修会を実施し、学校図書館とのネットワークを整備し子供たちの学習活動に直結した図書館運営を目指す。

### 【その他】

- 五感を刺激し、読書に親しんでもらう(加茂水族館のクラゲ展示・解説、お菓子作りとタイアップした参加型のイベント等)。
- 開館日の拡大・開館時間の延長を実施(夜の図書館・貸し切り図書館など)

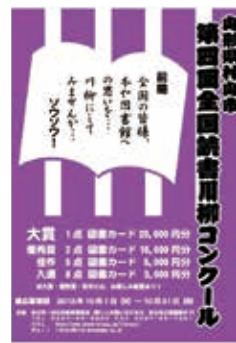
## 特徴

- 川柳コンクールは平成22年から開催しており、地元では小中高生からの応募が年々増加している。平成24年度全国読書川柳コンクールでは総数5495句の応募があり、全国的に認知されている。第四回となる平成25年度には、「川柳ステップアップ講座」を開き、文芸川柳としてのレベルアップを図っている。

- 「図書館からの贈り物事業～はじめの一冊・飛躍の一冊」  
市内の小学校1年生・中学校1年生全児童生徒に絵本の贈呈。本をプレゼントされた子供たちには笑顔が見られ、読書への関心が高まった。



- 貸し切り図書館では、平日の閉館後の2時間(午後7時～午後9時)に貸し切り利用。小学生親子での利用が増加した。



## 取組の成果と今後について

「読書シティ宣言」後に、全国川柳コンクールを開催した。年々応募者が増加し来館者も右上がりとなっている。今後は、今まで足を運んだことのない市民に対して魅力的な図書館事業を考えてみたい。これからの時代は、電子情報や電子書籍と図書館の共存が望まれていくので、どんな形にしていけば最善かが課題になってくる。